

もっと町を知ってもらいたい

「ましきまち生活便利帳」共同発行の協定書に調印

役場応接室で4月4日、「ましきまち生活便利帳」の共同発行に関する協定書の調印式が行われ、町と株式会社サイネックスの間で協定が結ばれました。町民や転入者などに、益城をもっと知ってもらおうと発行が決まった「ましきまち生活便利帳」には、役場での手続き方法や、地域の情報などを掲載。官民協働事業で作成されるため、発行までに要する経費は、民間事業者の広告

費でまかなわれます。

調印式で住永町長は「限られた予算の中で効果的な事業を展開したい」と話し、株式会社サイネックス代表取締役社長の村田吉優氏が、「住民目線に立ち、ローカル色豊かなものになりたい」と意欲を語りました。

なお、株式会社サイネックスが町内を回り、広告の募集を行いますので皆さんのご協力をお願いします。



協定書に調印した、町長と株式会社サイネックスの村田社長



「ましきまち生活便利帳」のイメージ画像

地産地消、食材は益城産

町婦人会が米消費拡大料理講習会

町公民館で3月27日、町婦人会（富田セツコ会長）は米消費拡大の一環として、町内でとれた米や野菜を食べてもらおうと町区長会や、社会福祉協議会など約60人を招待し、手料理を振る舞いました。

午前8時から調理を始めた町婦人会50人は、おにぎりや煮物、だんご汁、サラダなど全10品を準備。食材はすべて益城産で、会場に運ばれた料理

は、バイキング形式で盛り付けられました。

富田会長は「益城町で採れたものでこれだけの料理ができる。地産地消で米の消費を拡大できれば。益城産のおにぎりを味わってもらいたい」と話し、笑顔をこぼしていました。

訪れた参加者は、テーブルに並べられた豪華な昼食に舌鼓を打っていました。

おめでとう ぐんぐん

100歳表彰、宮園の三村さん

4月8日、宮園にお住まいの三村ミヨシさんが100歳の誕生日を迎えられ、町から表彰状と敬老祝い金が贈られました。

三村さんの自宅で、親族に祝福されながら、町長から表彰状を受け取り、続いて祝福に訪れた親族の神田アサエさんから記念の花束を受け取りました。

花束を片手に三村さんは「ありがたいことで」と笑顔をみせてくれました。また、誕生日の記念にと神田さんが三味線を2曲演奏。祝いの場に華を添えました。



町長から表彰状を受け取る三村さん